

当院に通院中の患者さんへ

当院では、「 ^{18}F -FDG-PETにおける心臓サルコイドーシス症例 後期相の有用性について」という臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた心臓サルコイドーシスを評価する目的のPET画像について、2時間後（後期相）を撮像することで診断が可能になり、その有用性を検証するものです。この研究の計画書や研究方法に関する資料は入手、閲覧が可能です。

【対象となる方】 2020年7月1日から2022年1月31日までに当院で心臓サルコイドーシスと診断、もしくは疑われ、PET-CTを撮像された方

【研究課題名】 ^{18}F -FDG-PETにおける心臓サルコイドーシス症例 後期相の有用性について

【研究責任者】 自治医科大学附属さいたま医療センター放射線科 真鍋 治

【目的】 サルコイドーシスは原因不明の炎症性多臓器疾患で、予後は一般的に良好ですが、心病変の合併が予後を左右します。PET-CTは心臓サルコイドーシスの診断、活動性の評価に有用ですが、検査手順に関しては施設間で異なり、最良の撮像方法は確立されておらず、本施設において後期相でしか描出できなかった症例を何例か経験しました。今回、 ^{18}F -FDG投与1時間後と2時間後のPET画像を比較し、後期相の有用性を検討します。

【研究資金・利益相反】

本研究における研究資金、利益相反はありません。

【利用するカルテ情報・資料】

研究対象者背景、身体所見、PET-CT検査所見、PET-CT検査前問診票、検査前後にMRIやCTが撮像されていればそれらの情報

【研究期間】 学長許可より2022年12月31日まで

【研究の参加等について】

ご自身の臨床データを本研究のために提供したくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの臨床データは研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。患者さんの臨床データを使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下

の研究責任者までお申し出下さい。

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後、直ちに試料・情報等を破棄・廃棄します。

【問合せ先】 本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

(1) 問い合わせ先

所属：.....自治医科大学附属さいたま医療センター放射線科.....

職名：.....准教授..... 氏名：.....真鍋 治.....

電話番号：.....048-647-2111.....

(2) 苦情申出先

自治医科大学附属さいたま医療センター総務課（電話 048-648-5225）